スマイルボックス

★森井　紀夫会員　★松野　正信会員
★渡邊　英晶会員　★近藤　英昭会員
★永井　勝康会員　★川﨑　　勉会員
★澤本　俊生会員　★久保田幸恵会員

卓話

＜裁判員裁判について＞

広島高等検察庁　次席検事 津 熊 寅 雄

◇はじめに

裁判員制度が始まった5月21日以降，全国で500件を超える裁判員裁判対象事件が起訴された。中国地方でも，30件を超える事件が起訴された。そのうち，全国で，既に8件について判決があった。山口の事件はそのうちの1件。

◇山口事件の概要

13年間，体の不自由な妻を介護してきた夫が，介護疲れから無理心中を決意し，妻の首に包丁を突き刺し殺害しようとしたが，傷を負わせたにとどまった殺人未遂事件。

介護という身近な問題を背景にした全国初の事件であり，TV・新聞などマスコミで大きく取り上げられた。

◇裁判の時系列

21.5.15　事件発生。被告人は，自殺を試みたが死にきれず，110番通報して，自首。警察が逮捕し，捜査開始。

6.8　検察官が殺人未遂罪で起訴
公判前整理手続き（2回）裁判所，検察官，弁護人の三者で打ち合わせ。事実関係に争いなく，量刑のみが争点となった。裁判で取り調べる予定の証拠と裁判の日程を決定した。

9.8午前　裁判員の選任手続き。 辞退を認められた人を除いた35名が裁判所に集まり，最終的に裁判員6名と補充裁判員2名が選任された。

午後　法廷で審理開始。起訴状朗読，証拠書類の取調，証人尋問と被告人質問を実施。検察官が懲役4年を求刑。弁護人が執行猶予（懲役3年執行猶予4年）求める。

9.9午前　裁判官と裁判員が評議
午後3時半ころ　判決（懲役3年執行猶予4年保護観察付き）

◇これまでの刑事裁判と，どこが変わったのか
大きく変わったと思われる点を，5つ指摘したい。

□　検察官の法廷の振る舞い方

法廷では余計なことは話さないというのが，これまでの検察官の基本的スタンス。
この裁判では，証拠調べの冒頭で，検事が名を名乗り挨拶した上で，ゆっくり丁寧な語り口で説明するなど，裁判員に分かりやすい主張立証の工夫を行った。

□　弁護人の工夫

弁護人が求刑することは，これまでの裁判ではなかった。通常，「寛大に」「減刑を」「猶予が相当」と主張していた。この裁判では，「懲役3年執行猶予4年」と年限まで指摘し，検察官の求刑との違いを明確にした。

□　判決の内容に変化

判決では，「妻との関係や両者の生活環境を整え，再犯等を確実に防止するには，保護観察による指導援助が必要」との理由から，執行猶予に保護観察がつけられた。この種の事件では，通常再犯は考えにくく，これまでは，一般的に保護観察は付かなかった。評議内容は不明だが，裁判員の意見が判決内容に反映された可能性が大きい。

□　判決後の裁判官による説諭に，裁判員の意見が生かされた。

裁判官は，裁判員の意見であるとして，被告人に「周囲と協力して，奥さんを二度と悲しませないように。生き甲斐を見つけてください。」などと説諭した。これに対し，被告人は「前向きに生きる。」と約束した。被告人は，親身になって心配してくれた裁判員に対しても，更生を約束したわけであり，被告人の更生に役立つことはもちろん地域の安心安全にも繋がっていく可能性がある。

□　裁判員が裁判後に記者会見

50代男性裁判員は，「国や県がもう少し改善して環境をつくらないと，同じような事件が起こるのではないか。」と述べ，他の裁判員も同様に，介護問題について，「地域や行政で真剣に考えていく必要がある。」と感想を述べた。介護という身近な問題が事件の背景であったため，裁判員が関心を持ちやすい面があったにしても，今後も多くの市民が刑事裁判に参加することによって，事件の背景に潜む社会のさまざまな問題への認識を深める機会となることが期待される。

2009 年 9 月 24 日
ダブリエクラブ（料理教室同好会）
於：スチュディオグリオット

2009年～2010年度
NO. 317

本年度会長方針
「参加する悦びを！
行動する悦びを！」

広島廿日市ロータリークラブ会報

例会日／毎週月曜日　12:30～13:30
例会場／広島サンプラザ TEL(082)278-5000
会長／渡邊　英晶　　幹事／髙尾　昌二

事務所／〒738-0015 廿日市市本町5番1号　廿日市市商工保健会館4F
TEL(0829)31-5490　FAX(0829)31-5491 E-Mail / hhrc@mx41.tiki.ne.jp
URL http://www.kaitekiteian.com/rc/

第 623 回　2009 年 9 月 7 日
於：広島サンプラザ

会長時間

会長挨拶

会長
渡邊　英晶　会員

みなさんこんにちは
さて、9月になり最初の例会です。
今月は新世代月間ということで簡単にお話をさせていただきます。

インターアクト

学校のクラブ活動など自立した組織で親クラブがアドバイスや協力をします。
広島廿日市RCでは、インターアクトクラブとして山陽女学園の高等部と一緒に活動をしております。毎年６月に覚せい剤など薬物乱用防止街頭キャンペーンを一緒に行っています。また、一年に一回インターアクト地区大会が開かれて各学校の活動の報告やら、各学校の意見交換が行われております。

青少年交換

約一年間母国以外の国でホストファミリーと生活を共にし、学校へ通います。

自国やその文化、自分の考えを出会った人々に伝える若き親善使節として、親しい友人を作りながら、世界を一つにする役割を担います。

ホストファミリーについて興味のある会員はどうか申し出てください。逆に教えられることも多いですよ。

ロータリー財団プログラム

8月10日に卓話をいただきました川妻パストガバナーさんも言っておられましたが財団には教育的プログラムがあり、ロータリー・センターを通じて、　研究グループの交換、　国際親善奨学金制度、大学教員のためのロータリー補助金、ロータリー平和および紛争解決研究プログラム、人道的補助金プログラムがあります。そのほか、財団にはポリオ・プラスがあります。

今年度の国際親善奨学生の奥広啓太さんから、無事ニューヨーク州オルバニー市に到着し9月１日から授業が始まったとﾒｰﾙがきました。オルバニーRCの奥広さんの世話役の方も決まり、その方に個人的にドライブに連れていってもらったと聞きました。近日、当地のRC例会に出席して、バナー交換をする予定だそうです。随時連絡を取り合いたいと思います。国際親善大使として立派に務めていただいております。

本日は、新世代月間に因んで、永井会員および河内会員から、卓話をお願いしております。

幹事報告

①理事会

本日、例会終了後13：40～　定例理事役員会を開催します。ご関係の方は、3階「末広の間」にご参集ください。

スマイルボックス

★松浦　光男会員
★森井　紀夫会員
★清水　理也会員
★青木　秀行会員
★川﨑　　勉会員
★渡邊　英晶会員
★永井　勝康会員
★河内　正晴会員
★川﨑　　尚会員

卓　話

■「新世代月間に因んで」　永井　勝康会員

30歳までの若い人の育成を支援するため、9月は「新世代のための月間」に指定されています。新世代のためのプログラムとしては4つがあります。

①インターアクト
②ローターアクト
③ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）
④青少年交換

①　インターアクト

インターアクトは、「インターナショナル」と「アクション」の合成語で、14歳から18歳の青少年によって構成されています。このインターアクトは、各地域や海外で積極的な奉仕活動を実施する組織とされています。インターアクト・クラブは、支援や指導を与える個々のロータリー・クラブがスポンサーとなっています。しかし、インターアクト・クラブは運営面でも経済的にも自立していることとされています。

2710地区には、17のインターアクト・クラブがあります。広島地区8クラブ、山口地区9クラブになっています。1996年12月、当クラブの提唱により、2710地区で15番目のクラブとして、山陽女学園高等部インターアクト・クラブが結成されています。

クラブの会員は多種多様です。男子のみ、女子のみのクラブもあれば男女両者からなるクラブもあり、その規模も大小さまざまです。会員基盤は1つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の2つ以上の学校から成る場合もあります。

インターアクトは、奉仕活動を通して次のことの重要性を学び行動することを目的にしています。

1) 指導力と誠実な人格の形成
2) 他者を尊重し、進んで助ける態度
3) 各自の責任を果たし、一生懸命努力することの尊さ
4) 国際理解と親善の推進

さらに、毎年、インターアクト・クラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクターは地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築き、このプロセスの中で、インターアクターは指導者としての技能を磨き、一生懸命働くことの価値を学ぶことになります。

インターアクターは、またローターアクト・クラブ結成の主導、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）への参加を実行することもしばしばあります。インターアクターは、青少年交換学生や国際親善奨学生になることもあります。

なお、今年度、山陽女学園は次の地区インターアクト3大事業全てのホスト校になっています。このようなことは、過去に例がないものと思われます。

1)　地区大会（2006年7月終了）
2)　韓国3690地区インターアクト・ホームステイ受入れ（2007年1月）
3)　指導者研修（2007年5月）

②　ローターアクト

ローターアクトは、ロータリーがスポンサーとなっている18歳から30歳までの青年男女のための奉仕クラブです。ローターアクト・クラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリー・クラブがスポンサーとなっています。　ローターアクト・クラブは、スポンサー・ロータリー・クラブの真の「奉仕のパートナー」であるとされ、ロータリー家族の重要な一員であるとみなされています。

ローターアクト・プログラムを通じて、若い世代の成人は知識や技能を学ぶばかりでなく、地域社会の物理的・社会的ニーズに取り組みながら、友情と奉仕の枠組みの中で国際理解と平和を推進していきます。

③ ロータリー青少年指導者養成プログラム（Rotary Youth Leadership Awards）

ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）には、毎年、世界中の何千人もの青少年が参加しています。リーダーシップの資質を備えている14歳から30歳までの選ばれた青少年が、ロータリーが全費用を負担するセミナーやキャンプ、ワークショップに出席し、指導者としての技能について話し合ったり、練習を通じてこれらの技能を習得したりします。ロータリー・クラブと地区が参加者を選考し、この行事のカリキュラムを進行することになります。

RYLAの目標は次の通りです。

1)　ロータリーの青少年への尊重や配慮を身をもって示すこと
2)　選ばれた青少年や潜在性を有する将来の指導者に対して効果的な研修を与えること
3)　青少年の指導力を青少年によって促進させること
4)　地域社会のために奉仕を行う青少年を公に認証すること

1971年にRYLAは国際ロータリーによって正式に採用され、ロータリー奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つとなりました。RYLAプログラムは、ローターアクトやインターアクト・クラブの結成や強化の柱となることもしばしばあります。RYLA参加者は、青少年交換学生や国際親善奨学生になることもあります。

④ 青少年交換

実際に異なる文化に浸ることは、国際理解および平和を推進するための最も強力な方法と考えられています。国籍に関わらず、すべての人々が同じ基本的なこと、すなわち自分自身や子供たちが豊かに満足して生活できる安全で快適な環境を求めているのだということを知れば、世界はより小さく、より友好的な場となることが期待できます。

そのような考え方のもと、青少年交換は、他国の人々と出会い、他の文化を体験し、生涯にわたる国際理解の種を播く機会を青少年に与えることを目的にしています。

1927年以来、ロータリー青少年交換プログラムの豊かな内容によって、世界中の学生やホスト・ファミリーにとってますます可能性が広がり、さらに人生を充実させることができるようになりました。ロータリー・クラブや地区、他地区グループによって管理されるこのプログラムに、現在、毎年82カ国以上の8千人を超える学生が参加しています。

記録に残っている最初の交換は、フランスのニース・ロータリー・クラブがヨーロッパ諸国の学生と交換を始めた1927年にまで遡ります。米国カリフォルニア州のクラブとラテン・アメリカ諸国の間の交換が1939年に開始され、1958年には米国東部にまで交換活動が広がりました。1972年、国際ロータリーの理事会が、世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として、世界中のクラブに青少年交換を推奨することに同意するに至っています。

なお、山陽女学園高等部では、次の方々が派遣学生になっています。

2000年～2001年度　清水千恵さん
2004年～2005年度　加藤奈実さん
2006年～2007年度　高橋志織さん

「ロータリー財団について」

ロータリー財団常任理事
河内正晴会員

ゆうほRCC9月定例会
2009 年 9 月 9 日（水）
於：八幡公民館

薬物乱用防止について　　中・高生対象

人形劇の練習の一コマ

二百廿日豊年市民祭
2009 年 9 月 12 日（土）
於：廿日市中央公民館

第 624 回　2009 年 9 月 14 日
於：広島サンプラザ

会長時間

幹事報告

①次回例会

次週月曜日9/21は祝日のため例会はありません。次回の例会は、9/28広島海上保安部におきまして職場訪問例会となっております。後日、参加者に詳細をお送りしますので、よろしくお願いします。